

小規模多機能型居宅介護 サービス評価

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

1. 初期支援(はじめのかかわり)

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大伍・田邊・阿部渡邊・伊藤(梢)・斎藤・長谷川・後藤・板屋越・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2人	9人	2人	0人	13人

前回の改善計画
通い利用や泊り利用の方については、入浴支援時や送迎時など1対1での場面において、ご本人の不安や想いなど聞き取れるよう、コミュニケーションのスキルアップを図る。

前回の改善計画に対する取組み結果
・ご利用者、職員が1対1の場面でのコミュニケーションを意識し職員が個々に対応ができています。また、新規のご利用者についても不安がないか、困っていることはないかなど聞き取るよう意識しているが、うまく聞き取れているか不安に思うことがある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3人	9人	1人	0人	13人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1人	9人	3人	0人	13人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	2人	10人	1人	0人	13人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1人	8人	3人	1人	13人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・新規ご利用者の情報収集や、ニーズについて職員個々にコミュニケーションを図るよう意識している。
・ご利用者さんと接する際に笑顔でコミュニケーションを図り、ご利用者さんの笑顔を引き出せるよう意識している。また、送迎時等にはご家族とのコミュニケーションを心掛けている。
・ご利用者のニーズを自ら考え、管理者、看護師、介護職員と相談しご利用者の不安要素を明確にすることができた。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・どのような声掛けを行えばご利用者さんの不安や想いを聞き取ることができるか手段や方法がわからない。
・入浴介助や超遅番で出勤するときなどはミーティングに参加できず情報共有ができていない。
・ご家族との関わりがほとんどなく、関係作りができていないかどうかが不安がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
・ご利用者個々の興味のある話題などを職員で共有し、ご利用者さんが話しやすい環境を作る。また、小規模会議等を活用してコミュニケーション研修を実施する。
・職員の勤務形態が多様なため、情報共有アプリの活用、または、午後のミーティングを開催するなど朝のミーティング内容が午後の出勤者にも確実に伝達できるよう体制を整える。

事業所自己評価・ミーティング様式
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

実施日	令和6年1月19日 (19:00～20:00)
メンバー	佐藤・小田・伊藤 (ヤ) 加藤・大伍・田邊・阿部 渡邊・伊藤 (梢)・斎藤・長谷川・後藤・板屋越・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
	前回の課題について取り組みましたか?	0人	3人	9人	1人	13人

前回の改善計画	ご利用者が楽しみをもって利用できるよう、個人の趣味や興味のあることについての個別対応ができる時間を増やしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・歩行のリハビリなど希望されている方についての支援は行えていたが、そのほかの活動については、集団での活動が多くなっていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0人	5人	8人	0人	13人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0人	4人	8人	1人	13人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0人	4人	8人	1人	13人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0人	5人	7人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者に合わせた歩行練習を行っている。 ・時間を見つけて、ご利用者さんがリフレッシュできるよう散歩やゲームなどを行っている。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者個々の趣味や興味のあることがわかってもそれにつなげる取り組み、又は継続することができなかった。 ・ご家族が積極的に希望や不安を訴えられる方についての対応はできる限り実施しているが、日々の業務の中でも訴えの多い方に掛ける時間が多く、訴えの少ない方へのケア時間が少ない。その分、情報も少なく検討する機会も少ない。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者さん個々の具体的な目標について明確にし、活動内容やケアの内容について定期的に評価し小規模会議等でスタッフが共有できる時間を確保する。 ・日々の担当職員のかかわり方について業務改善も含め検討していく。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大佐・田邊・阿部
渡邊・伊藤(梢)・斎藤・長谷川・後藤・板屋越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2人	10人	1人	0人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・夜間帯の申し送り、記録の継続ができるよう意識する。・ミーティングや会議等でご利用者個々のケアについて情報を共有していく。・夜間帯の申し送り、記録の継続ができるよう意識する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・いつでもどこでも誰でも発信、確認ができるアプリを利用することで情報の共有はしやすくなっているまた、ミーティングで夜間の申し送り事項について確認、検討が必要なものについては看護師の指示を受ける等で対応を行っている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0人	5人	5人	3人	13人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	12人	0人	0人	13人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	1人	6人	6人	0人	13人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	2人	11人	0人	0人	13人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1人	9人	3人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ミーティングや会議において、意見を出すだけでなく、どのようにしたらケアの統一が図れるかについても検討した。・ご利用者の状態の変化に気づき、ミーティングなどで共有することができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ご利用者の「以前の暮らし方」について10個以上の把握ができていない。・本人が訴えられる又はバイタル的に異常がある、本人の活気がないなどの異常については把握しやすいが、入浴時の皮膚の観察などができず、褥瘡形成に気づくことができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none">・現在実施している、ご利用者さんとのコミュニケーションの中から個々の生活について知り得た情報を共有していくことを継続する。・職員個々の業務になってしまう入浴介助などについてはケアの統一が図れていないことがある。ミーティングやカンファレンスで利用者の考えられるリスク、その予防について周知徹底を行う。また、各種研修を実施し職員の介護知識、技術についてスキルアップを図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大伍・田邊・阿部
渡邊・伊藤(梢)・斎藤・長谷川・後藤・板屋越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0人	4人	6人	3人	13人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・ご利用者、ご家族との情報交流を継続し、ご利用者の在宅生活を支えられるよう検討していく。・感染対策を行いながら、地域との交流について検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍でもできることを検討し、ご利用者が在宅で生活するうえで不便がないよう取り組むことができた。・職員が地域サロンや地区のお祭りに参加することができた。・Instagramの開設等でご利用者様の様子を発信できるよう取り組んだ。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0人	7人	5人	1人	13人
	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1人	5人	5人	2人	13人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0人	5人	6人	2人	13人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0人	2人	3人	8人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ご家族、介護者とは積極的に情報共有を図るように努めた。・ご家族だけでなく、ご利用者の安否、安全確保の対応について地域の方の困りごとなどにも対応し利用予定を変更することができた。・地域サロンや地区の行事に参加することができた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・地域行事に職員の参加はあったが、ご利用者が参加することはなかった。・地域資源についての理解ができていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・事業所での行事について、地域の方に参加していただくことが困難なためご利用者が地域に出向いて参加できるよう計画する。・地域資源について、インフォーマルなサービス、ボランティアの活用などでケアにつなげられるよう検討していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大伍・田邊・阿部
渡邊・伊藤(梢)・齋藤・長谷川・後藤・板屋越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	2人	6人	5人	13人

前回の改善計画	・この地域にどんな資源があるのか調べてみる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源についての情報共有ができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1人	2人	4人	6人	13人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4人	7人	2人	0人	13人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1人	11人	1人	0人	13人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	10人	2人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域資源の活用を意識し、配食サービス等の利用は行えている。また、利用者ご家族や友人等によるインフォーマルなサービスについても把握するよう努めた。 ・ご利用者の生活スタイルに合わせた柔軟な支援はできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域資源についての理解が不足していた。制度化された資源(フォーマルサービス)だけではなくインフォーマルなサービスを含めて理解することができなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域資源について、インフォーマルサービスについても理解を深める。 また、ご利用者が利用している地域資源についても職員が理解できるよう研修を実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

6. 連携・協働

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大伍・田邊・阿部
渡邊・伊藤(梢)・斎藤・長谷川・後藤・板屋越・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0人	1人	6人	7人	13人

前回の改善計画	感染予防を行いながら、地域との交流を図り、ご利用者の楽しみが増えるよう支援していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ご利用者を交えての地域交流ができなかった。 ・地域サロンへの参加で、ケアセンターどんぐりでの活動についてお話ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0人	1人	1人	11人	13人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0人	1人	2人	10人	13人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1人	2人	1人	9人	13人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0人	0人	2人	11人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・地域での会議、担当者会議等については、計画作成担当者などの専門職として必要な会議について参加することができていた。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域行事に職員は参加できたが、ご利用者が参加することはでいなかった。また参加する職員も委員会等での役割があり、決められた職員の参加となり事業所全体でかかわることができていなかった。 ・感染対策の緩和はあるが、高齢者施設での感染はリスクが大きく、地域の方が施設を訪問することについてはできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・事業所での行事について、地域の方に参加していただくことが困難なためご利用者が地域に出向いて参加できるよう計画する。 ・各種会議への参加について勤務調整を行い、できるだけ介護職員も参加できるよう計画する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

7. 運営

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大伍・田邊・阿部
渡邊・伊藤(梢)・斎藤・長谷川・後藤・板屋越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	3人	13人

前回の改善計画	・地域住民の方の生活スタイルの配慮した活動を継続していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の方からの苦情やご意見については、できる限り改善し対応を継続している。 事業所だけではなく施設全体として、地域の方の生活に配慮した行動を心掛けた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	1人	5人	2人	5人	13人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	9人	1人	2人	13人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	9人	1人	2人	13人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	1人	4人	3人	5人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・苦情や様々なご意見についてはその都度、検討改善を行っている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・地域の方との協働した取り組みについて避難訓練等実施することができなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・防災について、運営推進会議を通して様々な意見をいただき共同した訓練など検討していく。 ・苦情や様々なご意見については運営に反映できるようその都度対応していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大伍・田邊・阿部
渡邊・伊藤(梢)・斎藤・長谷川・後藤・板屋越

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	6人	5人	1人	13人

前回の改善計画	・リスクマネジメントの重要性について研修等を活用し、スキルアップを図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・施設全体での研修だけでなく、事業所会議の中でも研修時間を設けて職員の知識向上に努めた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	5人	5人	2人	1人	13人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2人	6人	2人	3人	13人
③	地域連絡会に参加していますか	0人	0人	2人	11人	13人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0人	8人	4人	1人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・施設内、事業所内での研修に参加することで職員の知識向上に努めた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・同じような事故が続く、危険の予測ができないなど、リスクマネジメントの意識が不足し研修で得た知識を実際の現場で活用することができていない。 ・職員の勤務調整が困難で外部研修への参加ができなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・情報共有アプリの活用で事故が起こった事実だけではなく、改善策についても入力し情報の共有を徹底 ※現在、事故報告、改善策については全職員が確認できるようシステムへの入力を行っているが各職員が意識的にパソコンを開いて確認しないとわからないままになっている。各事業所で活用しているアプリは各職員の使用している携帯で確認ができるため情報の共有がしやすくなる。 ・ヒヤリハット活用についての重要性を意識し研修を行う。 ・専門性向上に向け外部研修への参加を優先的に計画していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年1月19日(19:00~20:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 佐藤・小田・伊藤(ヤ)加藤・大伍・田邊・阿部
渡邊・伊藤(梢)・齋藤・長谷川・後藤・板屋越・

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
	前回の課題について取り組みましたか?	1人	9人	3人	0人	13人

前回の改善計画
・定期的に研修を行い、自身のケアを振り返る機会を作る。
前回の改善計画に対する取組み結果
・施設内や事業所でのミーティング等で虐待や人権擁護について学ぶことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	11人	2人	0人	0人	13人
②	虐待は行われていない	10人	3人	0人	0人	13人
③	プライバシーが守られている	6人	5人	2人	0人	13人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	3人	4人	3人	3人	13人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	4人	7人	2人	0人	13人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職員間で身体拘束や虐待防止についての意識が徹底しており行われていない。 ・事業所会議にて成年後見制度について研修を実施し学ぶことができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・研修などで知識は身につけているが日々の業務の中で振り返りや検討する機会が少なかったこと、自身の業務に追われ声掛けなどでは、ご利用者の行動制限を行う場面がみられている。 ・個人情報管理を忙しい業務の中でつい、怠ってしまうことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・日々のケアの中での振り返りや評価を行い、職員同士が声を掛け合い注意していく。 ・研修の継続。	

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6	0	0
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の2/3以上の参加が望ましい	6	0	0
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取り組みが行われていましたか？	6	0	0
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	5	0	1

<p>【上記4つのチェック項目に関する意見】 ※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見</p> <p>・特に意見なし。</p>
<p>【前回の改善計画に対して意見】 ※前回の改善計画に対しての取り組み結果に対する意見</p> <p>・特になし。</p>
<p>【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】 ※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見</p> <p>・特になし</p>
<p>【「自己評価」をテーマにした自由意見】</p> <p>・特になし。</p>
<p>【改善計画】※後日記入</p> <p>事業所の課題を明確にし、年間を通して取り組んでいけるよう計画を立てる。</p>

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	0	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	4	0	2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	5	0	1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	4	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・コロナ感染予防により、事業所への出入りができず、わからない状況のため、職員の自己評価から判断した。
- ・面会などで、出入りした場合には特に不快な音やにおいはない。

【前回の改善計画】

- ・ケアセンターどんぐり全体として、感染予防、また感染症発生時の拡大防止に取り組んでいく。

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

【今回の改善計画】※後日記入

- ・基本的な感染対策を継続しながら、地域の方々との交流について検討する。また情報発信アプリ等の利用で、事業所の様子など発信していく。

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	職員はあいさつできていますか？	6	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6	0	0
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	2	0	4
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	5	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・スタッフが地域行事に参加しているが、そのことについてわからない職員がいるのではないか。
- ・一部地域のサロンに参加しているが周知できていないのではないか。もっとサロンへの参加を行った方が良い。

【前回の改善計画】

- ・地域貢献活動として、地域の方との交流を具体的に検討していく。

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

- ・自宅で介護をしているが心細く思っている人もいると思う。そういう方々のためにも情報共有の場の提供が必要だと思う。

【改善計画】※後日記入

- ・介護についての相談、悩みなど共有できる場の検討を行い、施設として地域から何を求められているのかの把握に努める。

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	0
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	3	0	3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	2	1	3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	3	0	3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	1	0	5

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・施設側から地域の住民が参加できるイベントの企画があれば、日程や時間によっては参加できるのではないかと。

【前回の改善計画】

- ・コロナ感染状況を踏まえて、できるだけ地域との交流ができるよう検討していく。

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

- ・ご利用者以外でも地域で困っている人はいると思うのでそのような方についても相談できる場があればよいと思う。
- ・施設側から地域の住民が参加できるイベントの企画があれば、日程や時間によっては参加できるのではないかと。

【改善計画】※後日記入

- ・基本的なコロナ感染対策を行いながら、利用者も地域のイベントや行事への参加ができるように計画する。

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6	0	0
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	1	0
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	0	0
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	6	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・施設ではあるが、区に一員として見ていただきたい。

【前回の改善計画】

- ・地域とのかかわりを念頭に、ご利用者の生活、事業所、施設での生活について発信する。

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

- ・施設と地域での取り組みが具体化できれば協力していきたい。

【改善計画】※後日記入

- ・運営推進会議でいただいた意見を基に地域とのかかわりについて具体化できるよう検討する。

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	5	1	0
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	2	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	3	2	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	0	6	0
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	4	1	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

- ・地域住民と協同した避難訓練の実施について、避難・消火訓練の実施だけではなく、他関係機関の協力を得てイベント的に取り組んだ方が良いのではないかと。

【前回の改善計画】

- ・今まで通り、避難訓練の継続を行うとともに、ICTの活用で、新たな連絡手段の検討と実施に取り組む。

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

- ・地震があった場合の連絡体制についての確認があったため説明を行った。
「施設の状況、ご利用者の状況については、地震発生後速やかに現場スタッフにより情報共有アプリを活用して連絡が入る体制が構築されている。状況によって指示を出している。」

【改善計画】※後日記入

- ・地域の方にも参加していただけるよう、防災訓練を計画、実施する。

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 東蒲原福祉会	代表者	五十嵐 隆生	法人・ 事業所 の特徴	ケアセンターどんぐりでは、小規模、グループホーム、ショートステイ、訪問介護事業と、在宅介護の拠点として、柔軟なサービス提供ができる施設です。 ご利用者、ご家族、地域の方々とのつながりを大切に、信頼される事業所を目標に取り組んでいます。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所どんぐり	管理者	板屋越 麻由美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	1人	0人	5人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	より良いサービスの提供のためには職員全体の質の向上が必要である。日々の振り返りや、技術の向上ができる自己評価を行う。	前回の改善計画を具体的なものにしたことで、できている点やできていない課題を事業所全体で明確にすることができた。	・特になし。	事業所の課題を明確にし、年間を通して取り組んでいけるよう計画を立てる。
B. 事業所のしつらえ・環境	ケアセンターどんぐり全体として、感染予防、また感染症発生時の拡大防止にとり組んでいく。	感染症発生時などは、その都度施設全体での対策会議等を行い感染拡大に努めた。また日頃より、感染症委員を主として感染予防に取り組むことができた。	・コロナ感染予防により、業所への出入りができずにわからない状況のため職員の自己評価から判断した。	基本的な感染対策を継続しながら、地域の方々との交流について検討する。また、情報発信アプリ等の利用で、事業所の様子など発信していく。
C. 事業所と地域のかかわり	地域貢献活動として、地域の方との交流を具体的に検討していく。	地域貢献委員を主として、地域のサロンや、行事に参加することができた。	・地域の行事に参加していることがわからない職員がいるのではないかと。 ・一部地域のサロンに参加しているが周知できていないのではないかと。もっと広くサロンへの参加をした方がよい。 ・自宅で介護をしているが心細く思っている人もいると思う。そういう方々のためにも情報共有の場の提供が必要だと思う。	介護についての相談、悩みなど共有できる場の検討を行い、施設として地域から何を求められているのかの把握に努める。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ感染状況を踏まえ、できるだけ地域との交流ができるよう検討していく。	一定の職員による地域行事への参加や地域における会議等に参加することはできていたが、ご利用者がイベント等に参加することはできなかった。	・ご利用者以外でも地域で困っている人はいると思うのでそのような方についても相談できる場があればよいと思う。	基本的なコロナ感染対策を行いながら、利用者も地域のイベントや行事への参加ができるよう計画する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	地域とのかかわりを念頭に、ご利用者の生活、事業所、施設での生活について発信する。	運営推進会議開催時にはご利用者の様子や地域での活動について報告することができた。	・施設と地域での取り組みが具体化できれば協力していきたい。	運営推進会議でいただいた意見を基に地域との関わりについて具体化できるよう検討する。
F. 事業所の 防災・災害対策	今まで通り、避難訓練の継続を行うとともに、ICTの活用で、新たな連絡手段の検討と実施に取り組む。	感染対策を行いながら、消防署立ち合いのもと、施設全体で年2回の避難訓練を行った。職員の連絡手段についてはLINEを活用し一斉配信、また地震等があった場合の施設状況については情報共有アプリ(スラック)を活用してスムーズに把握することができた。	・地域住民と協同した避難訓練の実施について、避難・消火訓練の実施だけではなく、他関係機関の協力を得てイベント的に取り組んだ方が良いのではないか。	・地域の方にも参加していただけるよう、防災訓練を計画、実施する。